

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	観光”しずおか”地域			
計画の期間	平成19年度	～	平成23年度	交付対象 静岡県
計画の目標	国内外からの観光交流が持続的に拡大する魅力ある地域を創造します。			

計画の成果目標 (定量的指標)	観光交流客数を目標年度 (H22年度) までに (H17年度) に比べ7,100千人増加させる 再び訪れたいと強く感じる旅行者の割合を目標年度 (H22年度) までに50%とする 海外からの静岡県への訪問客数を目標年度 (H22年度) までに50万人とする。
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H17)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H22末)							
① 観光交流客数 (宿泊者数+観光レクリエーション客数)	132,900千人		140,000千人							
② 再び訪れたいと強く感じる旅行者の割合 (来訪者アンケート)	38%		50%							
③ 海外から静岡県への訪問客数	17万人		50万人							
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,429 百万円	A	4,429 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ											
第2期 (H20～H24)						第3期 (H25～H29)					
分野名	活力・交流					分野名	-				
目標名	都市・地域交通の快適性、利便性の向上					目標名	-				
指標名	-					指標名	-				
			目標値 (H24)					目標値 (H29)			

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) - : その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業												A1 道路事業					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)								
											H19	H20	H21	H22	H23				
1-A1-1	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 熱海大仁線 (熱海市下多賀)	現道拡幅 L= 0.3km	熱海市						126	○		
1-A1-2	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(一) 中大見八幡野線 (伊東市池)	バイパス L= 0.7km	伊東市						538	○		
1-A1-3	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 三島裾野線 (裾野市平松)	バイパス L= 0.4km	裾野市						186	○		
1-A1-4	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 三島裾野線 (長泉町中土狩)	バイパス L= 0.2km	長泉町						1,191	○		
1-A1-5	河川	一般	静岡県	直接	-		マリーナ整備	浜名湖 (伊佐見マリーナ) (浜松市西区古人見町)	マリーナ整備 N=1箇所	浜松市						751	○		
1-A1-6	河川	一般	静岡県	直接	-		河川改良	(二) 水神川 (熱海市下多賀)	河道拡幅 L= 0.2km	熱海市						100	○		
1-A1-7	河川	一般	静岡県	直接	-		河川改良	(二) 河津川 (賀茂郡河津町笹原)	河道拡幅 L= 0.2km	河津町						276	○		
1-A1-8	河川	一般	静岡県	直接	-	一級河川	拡幅	一級河川修善寺川 (伊豆市修善寺)	河道拡幅 L= 0.2km	伊豆市						274	○		
1-A1-9	河川	一般	静岡県	直接	-	一級河川	拡幅	一級河川神田川 (富士宮市宮前)	河道拡幅 L= 0.1km	富士宮市						30	○		
1-A1-11	河川	一般	静岡県	直接	-		マリーナ整備	浜名湖 (領家エゴマリーナ) (浜松市西区雄踏町宇布見)	マリーナ整備 N=1箇所	浜松市						52	○		

1-A1-12	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 巴川 (静岡市清水区万世町)	景観整備 L= 0.2km	静岡市						36	○	
1-A1-13	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 東光寺谷川 (藤枝市上青島)	河道拡幅 L= 0.5km	藤枝市						454	△	H28
1-A1-14	港湾	一般	静岡県	直接	—	地方	改良	土肥港 (地方) (伊豆市土肥)	橋梁改築 N= 1箇所	伊豆市					105	○	
1-A1-18	(徳案) 基盤整備	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	公共サイン	地域案内標識の統合	県全域					250	○	
1-A1-19	(徳案) 基盤整備	一般	静岡県	直接	—	地方	建設	土肥港 (地方) (伊豆市土肥)	歩道整備 L= 44.3m	伊豆市					60	○	
合計														4,429			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H19	H20	H21	H22	H23			
合計														0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H19	H20	H21	H22	H23			
合計														0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

その他関連する事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
									H19	H20	H21	H22	H23				
1-A' 1-10	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 麻機遊水地 (静岡市葵区芝原)	遊水地整備 A= 11ha	静岡市						2,874	○	
1-A' 1-15	港湾	一般	静岡県	直接	—	特重	建設	清水港 (折戸小型船だまり) (静岡市清水区折戸)	浮棧橋 A= 650m2	静岡市					464	○	
1-A' 1-16	港湾	一般	静岡県	直接	—	特重	建設	清水港 (折戸親水緑地) (静岡市清水区折戸)	緑地整備 A= 3,800m2	静岡市					61	○	

A'	3,399百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	0.0%
----	----------	----	------	----	------	---------------------------------	------

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。  
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業  
H23 G No.115、169～171  
(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ (一) 中大見八幡野線のバイパス整備等により、すれ違い困難な個所が改善され、観光拠点間の移動を円滑なものとすると共に、周辺観光地との結びつきを一層強化することで、魅力的な観光地づくりに寄与した。
- ・ (主) 三島裾野線(平松)(中土狩)のバイパス整備により、現道の渋滞発生頻度が大幅に減少し、観光地としての魅力が向上した。
- ・ 河津川の河道拡幅整備において景観への配慮、水辺に近づけるような護岸整備を行った結果、川としての魅力が向上し来訪者の増加に寄与した。
- ・ 修善寺川の河道拡幅整備において温泉地の景観に配慮した河道改修を行った結果、観光地としての魅力が向上した。
- ・ 土肥港において景観に配慮した自然歩道を整備した結果、観光地としての魅力が向上した。

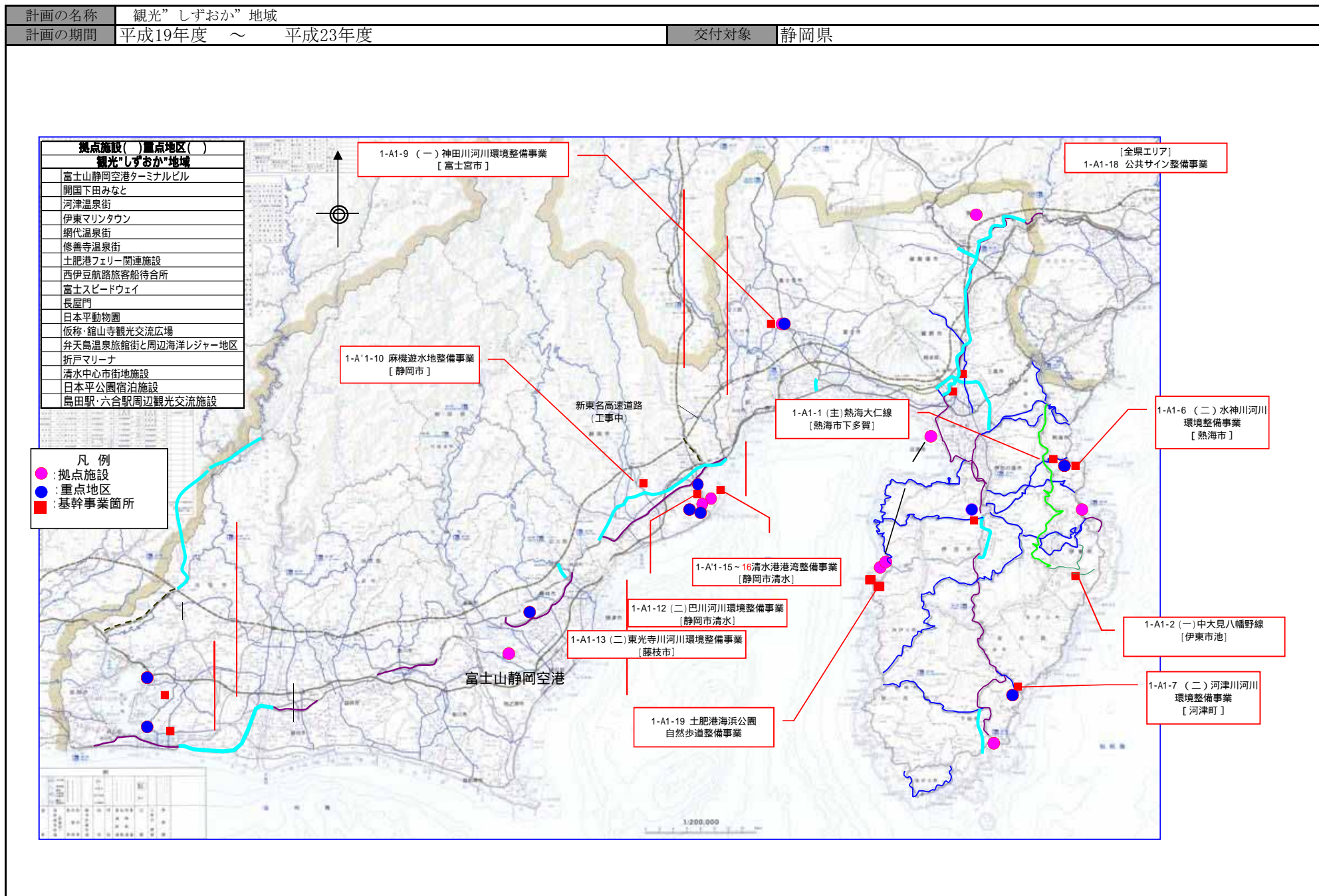
定量的指標の達成状況	指標①(観光 交流客数)	最終目標値	140,000千人	目標値と実績 値に差が出た 要因	満足度日本一の観光地づくりに、県として取り組んできた成果が表れた。 交付対象事業の整備による効果もその一躍を担ったと考えられる。
		最終実績値	140,770千人		
	指標②(再び 訪れたいと強 く感じる旅行 者の割合)	最終目標値	50%	目標値と実績 値に差が出た 要因	満足度日本一の観光地づくりに、県として取り組んできた成果が表れた。 交付対象事業の整備による効果もその一躍を担ったと考えられる。
		最終実績値	56.1%		
	指標③(海外 から静岡県へ の訪問客数)	最終目標値	50万人	目標値と実績 値に差が出た 要因	中国や韓国といった近隣諸国との関係性が変化したことにより、訪日外国人数が想定より 少なかったため。
		最終実績値	28万人		

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (一) 中大見八幡野線のバイパス整備や熱海大仁線の現道拡幅等を行った結果、すれ違い困難箇所の解消が図られ、交通の円滑化が図られた。</li> <li>・ (主) 三島裾野線(平松)(中土狩)のバイパス整備により、現道の渋滞発生頻度が大幅に減少し、交通の円滑化が図られた。</li> <li>・ 河津川の河道拡幅整備を行った結果、河川断面が拡がり目標洪水を安全に流すことが出来るようになった。</li> <li>・ 修善寺川の河道拡幅整備を行った結果、河川断面が拡がり目標洪水を安全に流すことが出来るようになった。</li> <li>・ 土肥港の臨港交通施設(橋梁)を補修した結果、通過交通の安全が確保された。</li> </ul>
--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も交通の円滑化や景観に配慮した河川整備、港湾整備を行うことで地域の魅力を活かすような社会資本整備を推進し、観光地の魅力向上に寄与するよう努める。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

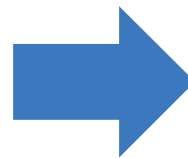


# 事業効果の発現状況

## 道路改築事業

中伊豆地域と東伊豆地域を結ぶ(一)中大見八幡野線(伊東市池)のバイパスが平成23年10月に開通したことで、すれ違い困難な個所が改善され、観光拠点間の移動がスムーズになった。また、交通の分散化にも寄与したことで、周辺観光地との結びつきが一層強化され、魅力的な観光地づくりに寄与した。

(一) 中大見八幡野線(伊東市池)



# 事業効果の発現状況

## 河川改修事業

(一) 修善寺川の河道拡幅整備において温泉地の景観に配慮した河道改修を行った結果、治水の安全度が高まり、観光地としての魅力が向上した。

(一) 修善寺川(観光しずおか)  
**着手前**



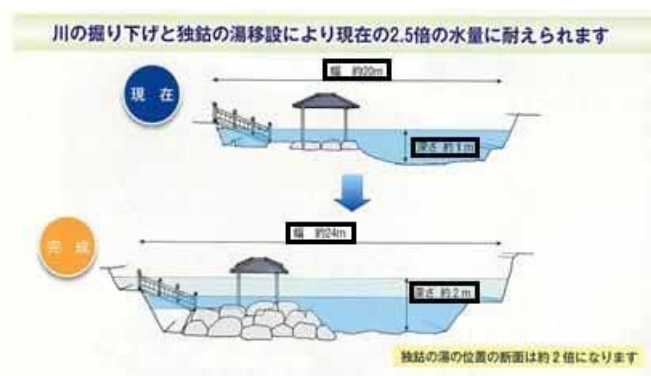
独鈷の湯移設前



**完成後**



独鈷の湯移設後



# 事業効果の発現状況

## 【港湾】自然歩道整備事業

土肥港海岸小土肥地区には二級河川小土肥川が流れ込んでおり、海水浴場が両岸に分断され行き来ができず利便性に劣る状況であったが、人道橋を整備した結果、両岸の海水浴場を一体的に利用することができ、観光地としての魅力が向上した。

土肥港 小土肥地区（伊豆市）

施工箇所



整備前の状況



整備後の状況

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部